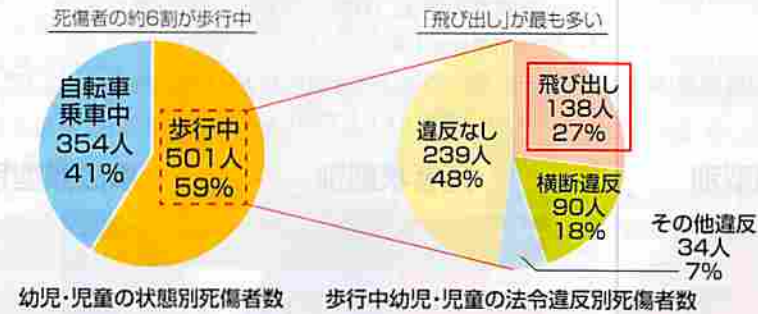


子供たちを交通事故から守るために

入学の季節になりました。新入学児童たちは、自分一人で外を歩く「交通デビュー」の時期とも言えます。しかし、この時期は、まだ子供たちに交通ルールが十分に身についていないことなどから、子供が被害にあう交通事故が多発する傾向があります。

●幼児・児童が関係する交通事故の特徴(平成28年～令和2年合計 広島県警察調べ)



◇生活道路やスクールゾーンを走行する場合

スピードを落とし、いつも以上に目を配り子供の早期発見に努めましょう。子供は、大人が想像できないような思わぬ行動をとることがあるため、危険を予測しながら動静に注意して、安全運転を心がけましょう。

また、止まっている通学・通園バスのそばを走行するときは、徐行して安全を確認しましょう。



学校、幼稚園、保育所などあり

◇幼児・児童の安全確保等

○家庭では…子供と一緒に通学・通園路やよく通る道などを歩き、子供の目線で道路の状況に応じた注意点を具体的に分かりやすく教えましょう。

○地域では…通学・通園路や公園付近における交通危険箇所の点検を行うなどして、安全な交通環境を整えましょう。

交通安全ポスターをトラックにラッピング!

花王ロジスティクス株式会社(本社東京都)は、社会貢献活動として、交通安全ポスターコンクールの優秀作品をラッピングした4tトラックを岩国から呉、江田島、広島市内全域で走行させ、交通安全を呼びかけています。



各地区交通安全協会では、こんな活動を行っています。



お詫び

1月14日(金)から1月20日(木)まで、県庁県民ギャラリーで開催を予定しておりました「交通安全ポスター展示会」は、まん延防止等重点措置適用に伴い、中止いたしました。皆様には、ご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。



協賛店紹介

特典内容は、(公財)広島県交通安全協会ホームページ等をご覧ください。

○レジャー・観光		
*入船山記念館	呉市幸町4-6	TEL0823-21-1037
*休暇村 大久野島	竹原市忠海町5476-4	TEL0846-26-0321
*ウッドワン美術館	廿日市市吉和4278	TEL0829-40-3001
*ひろしま美術館	広島市中区基町3-2	TEL082-223-2530
*福山自動車時計博物館	福山市北吉津町3-1-22	TEL084-922-8188

No.649



交通ひろしま

春号
2022

HIROSHIMA TRAFFIC SAFETY

編集・発行 公益財団法人 広島県交通安全協会 広島県交通安全活動推進センター
〒731-5108 広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター5F
TEL(082)941-7700 FAX(082)941-7701
URL https://www.hiroankyo.or.jp/ e-mail:htss@hiroankyo.or.jp

令和3年中の交通事故発生状況(県内)		
件数	4,655件	(昨年比 -124件)
死者数	70人	(昨年比 -1人)
負傷者数	5,495人	(昨年比 -153人)

令和4年

春の全国交通安全運動

◎実施期間 4月6日(水)～4月15日(金)
※交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(日)

令和4年 広島県交通安全年間スローガン

『ゆるさない ハンドル・スマホの ニ刀流』

広島県交通安全キャッチフレーズ

『なくそう交通事故・アンダー60作戦』



運動の重点

①子供を始めとする歩行者の安全確保

◇横断するときは、手をあげるなど「横断したい」という意思をドライバーへ伝え、安全確認をしてから横断をはじめましょう。

◇赤信号での横断や車両等の直前直後の横断をしないなど、歩行者も交通ルールを守りましょう。近くに横断歩道がある場合は、横断歩道を渡りましょう。

◇薄暮時や夜間などに外出するときは、反射材用品やLEDライトなどを身につけて自分の存在を周りに伝えましょう。

「高齢者の交通安全の日」～毎月10日

②歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

◇信号機のない横断歩道では、歩行者優先です。横断しようとする歩行者がいるときは、必ず一時停止しましょう。

◇「ゾーン30」内には学校などがあるほか、多くの人が生活道路として利用しています。速度厳守はもちろんですが、抜け道として利用しないようにしましょう。

◇薄暮時に運転するときは早めにライト点灯しましょう。ライト点灯の基本は上向き!先行車・対向車がいる場合は、下向きライトにするなどこまめな切り替えで危険を早くキャッチしましょう。

◇お酒を飲んだら絶対に車を運転してはいけません。また、二日酔いでもアルコールが残っていると飲酒運転になります。アルコールが体内から抜けるには相当時間がかかります。「寝たから大丈夫」という安易な考えはしないで、翌日に運転する方は、深酒はやめましょう。

「飲酒運転根絶の日」～毎月20日

③自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

自転車は、道路交通法で軽車両に位置付けられた「車両の仲間」です。「自転車安全利用五則」などの基本的なルールを守りましょう。

自転車安全利用五則

- ①自転車は車道が原則、歩道は例外
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④安全ルールを守る
 - 二人乗り・並進や飲酒運転の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認 など
- ⑤子どもはヘルメットを着用

◇自転車を運転するとき、夜間にライトを点けることはもちろんですが、反射材用品などを活用しましょう。

◇幼児から高齢者まで全ての自転車利用者は、ヘルメットを着用しましょう。

◇もしものときに備えて、自転車保険に加入しましょう。



「自転車安全利用の日」
～毎月1日

交通安全情報ぶらっ

★交通安全資機材の寄贈

12月9日(木)、JA共済連広島から交通安全資機材一式と講習用バイク1台を寄贈していただきました。資機材は、ハンドル、アクセル、ブレーキを備えており、急な飛び出しに対するブレーキを踏むことができる体験型です。要請に応じて県内各地に出向く交通安全体験車「ヒコア」に搭載しています。



下江副本部長(右)と酒井専務理事

★資機材の寄贈

12月13日(月)、JRAウインズ広島事務所(広島市南区)において贈呈式が行われました。JRAウインズ広島からテレビ1台とノートパソコン2台を寄贈していただきました。寄贈の機器等は、交通安全教室をはじめ、広報活動に活用させていただきます。



高岡所長(左)と酒井専務理事

★交通安全ポスター・作文コンクールの「優秀作品集」を作成

当協会では、小中学生を対象に実施している交通安全ポスター・作文コンクールの県知事賞受賞作品など、ポスター14点と作文14点を掲載した「交通安全ポスター・作文優秀作品集」を作成し、交通安全意識の啓発に役立てていただくよう、県内の小中学校や公立図書館などに配布しました。



優秀作品集

★「トライ・ザ・セーフティひろしま2021」の実施結果

5人1組で150日間無事故無違反運動に12,132チームが挑戦し、この内10,329チームが達成(達成率85.1%)されました。

また、2月15日(火)には、達成チームを対象に副賞抽選会が開催されました。



副賞抽選会の様子

お知らせ

※新型コロナウイルス拡大防止のため変更・中止する可能性があります。

①「優良運転者表彰」の申請を受付開始

交通安全協会では、無事故無違反を継続し、他の模範となる優良ドライバーの方を表彰しています。

交通安全協会の会員の方で、5年以上無事故無違反を続けられている方の申し込みをお待ちしております。

- 受付期間:4月1日(金)から6月20日(月)
- 受付場所:お近くの交通安全協会
- 表彰式:9月1日(木)

JMSアステールプラザ(広島市中区加古町)

*運転免許証の返納を予定されている方は、事前に無事故・無違反証明書の交付を受けてください。

表彰申請の詳細はこちら



②第52回二輪車安全運転広島県大会参加者募集中

- 開催日時:5月22日(日) 8:30(受付)
- 開催場所:広島県運転免許センター(広島市佐伯区石内南)
- 申込期限:5月13日(金)

参加募集の詳細はこちら



③第57回交通安全子供自転車広島県大会の開催

- 開催日時:6月18日(土) 9:30~16:15
- 開催場所:広島市中小企業会館(広島市西区商工センター)

優勝チームは、8月10日(水)に東京で開催される全国大会へ出場します。

大会の詳細はこちら



○広島県警察本部交通部長から感謝状の授与

世羅町内では、平成29年10月29日に交通死亡事故が発生してから、昨年12月7日で交通死亡事故ゼロ1,500日を達成しました。世羅郡交通安全協会(井口清紀会長)の交通安全活動に対し、感謝状が贈られました。次に目指すは、2,000日!!



交通死亡事故ゼロ1,500日達成!!



令和3年中の交通死亡事故発生状況

※データ等は広島県警察資料より

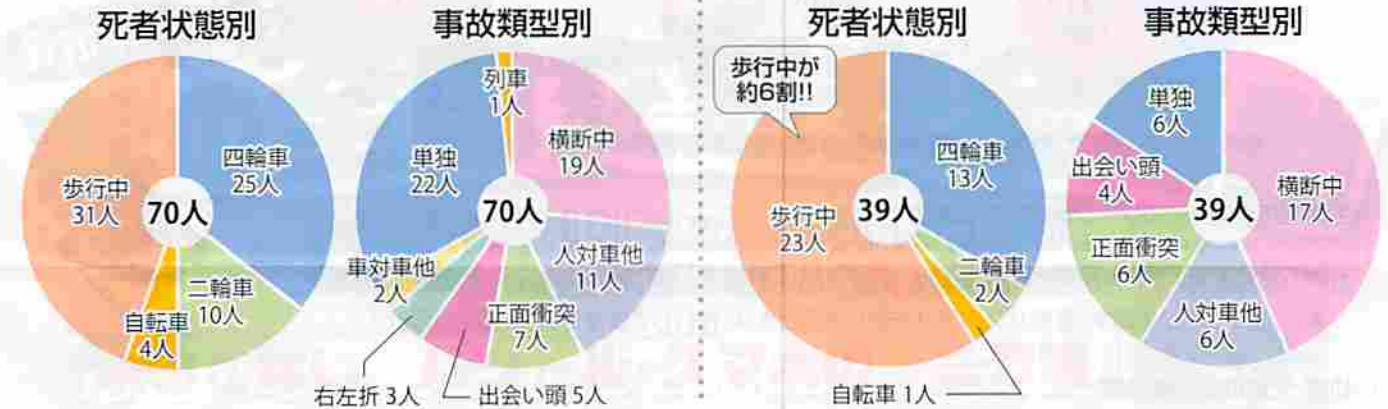
広島県内における、令和3年中の交通事故死者数は、70人(前年比-1人)、うち39人(前年比+3人)が高齢者で全死者数の半数以上を占めています。

○令和3年中の交通事故の特徴

- ・時間帯別では、12時~14時の発生が最も多い(前年比+9人)
- ・状態別では、歩行中が31人で最も多く、次いで四輪乗車中が25人多い

○高齢者が関係する交通死亡事故の特徴

- ・時間帯別では、18時~20時の発生が最も多い(前年比+1人)
- ・年齢層別では、85歳以上が13人で最も多く、次いで70~74歳が11人多い



アルコールチェックが義務化されます

事業所において、安全運転管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックが「義務化」されます。

<令和4年4月1日施行>

- ◇運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること
- ◇酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存すること

<令和4年10月1日施行>

- ◇運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと
- ◇アルコール検知器を常時有効に保持すること

地区協会だより

東城交通安全協会

「交通事故防止をめざして」

東城交通安全協会は、広島県の東北端に位置し、鳥取、岡山両県に接する庄原市東城町を活動エリアとしています。過疎化少子高齢化が進んでおり、現在では人口8,000人を下回っております。役員、推進隊においても高齢化が進んでおり、これが今後、活動を継続していくうえでの大きな課題となっています。

令和2年に新型コロナウイルスが発生し、当時は一過性のものかと思っておりましたが、2年を過ぎ第6波に突入し社会経済にも大きな影を落しております。

そんな状況の中、東城交通安全協会の活動状況について紹介したいと思います。コロナ発生以前の活動については、春、秋の全国交通安全運動東城大会、ショッピングセンターや道の駅での啓発グッズの配布、交通安全啓発を目的とした交通安全法令講習会の開催(町内6ヶ所)、安全運転管理者を対象とした講習会の開催のほか、小学校の自転車教室等を定期的に行ってきまし

た。コロナ発生によりこれらの活動が、中止または縮小となる中、参加者数や開催場所を考えるなどできる範囲で活動を継続してきました。

このほか、登下校中の子供たちを守るため、交通量の多い交差点にバトカー、みまもりゾーンの看板を新設し、子供たちの登校時にはバトカーも入っていた、交通安全推進隊、事業所、PTA等と地域一体となって街頭指導し、交通事故の抑制を図っております。また、国道314号線バイパス陸橋には、新調した横断幕で交通事故の抑止を呼び掛けています。

今年度の活動は、コロナの状況を見ながら警察署など関係機関との連携を図り、地域の皆様のご協力をいただきながら、交通事故防止活動に役員一同努めて参ります。



会長 桐岡 勲雄



みまもりゾーンの看板を新設